



郡山マンドリンクラブ

第19回定期演奏会

午後のひととき

～マンドリンとともに～

2022年1月29日(土)

開演 16:00

場所 ミューカルがくと館
大ホール





演奏曲目

♥ 第1部 マンドリンオリジナルステージ

パリの行進／F.ポピー／M.マチョッキ編曲

ガボット・セレナーデ／A.アマディ／松本讓編曲

グランド・シャコンヌ／藤掛廣幸

休憩15分間

♥ 第2部 ポピュラーステージ

女学生／E.ワルトトイフェル／久保田孝編曲

麒麟がくる／J.R.グラム／青山涼編曲

やしの実／大中寅二／武田洋之編曲

テレビ時代劇メドレー2020／武田洋之編曲



曲目解説

●パリの行進

作曲家ポピーは1874年フランスのリヨンに生まれた。本曲はパリの軍隊に所属していた時のもので、フランス風に派手でロマンティックな親しみやすい曲になっている。編曲者マチョッキはイタリアのローマに生まれた。1900年以降パリに移住して、マンドリン合奏団を指揮し、作曲活動に勤しみ、八百に及ぶ作品を残している。

●ガボットセレナーデ

「マンドリニストの友」と敬愛されたアマディは多くの優れた小品を残している。本曲もその一つで、1904年に発表された。トレモロのみによる16小節の導入からガボットに入る。アマディはガボット調を特に好み、この形をマンドリン合奏に巧みに用いた。さらに第3マンドリンを加えることにより、巧妙な味を醸し出している。トリオのミュゼッタではギターを軽妙に扱い、極めて好ましい効果をあげている。

●グランドシャコンヌ

藤掛廣幸は岐阜県出身。

作品は管弦楽、吹奏楽、マンドリン合奏、オペラ、バレエ、ミュージカル、シンセサイザー音楽など多岐に渡る。

特にマンドリン合奏作品は多く『パストラル・ファンタジー』（本楽団では2009年第8回に演奏）をはじめ、百曲以上にのぼる。

「シャコンヌ」とは、スペイン発祥のゆっくりとした三拍子の舞曲を起源としたバロック時代の器楽変奏曲の一形式で、4小節または8小節を一単位とする和声定型の反復をベースとする。

冒頭、マンドラによって呈示される雄大で美しい16小節間の主題を核としながら、それを変奏しながら劇的に展開していき、終結部では「グランド」の名にふさわしく壮大に主題を歌い上げて幕を閉じる。

本楽団では2006年第5回以来二回目の演奏となる。



出演者

○:パートトップ

* Conductor *

指揮：武田洋之 長川千穂

* 1st Mandolin *

岡 美森 原 康夫 ○松岡 節 横澤裕也

* 2nd Mandolin *

鈴木純子 須永多賀子 ○富樫智美 吉成 智

* Mandola Tenore *

○上野さちら 長谷川穂美 村上明子 植竹重之

* Mandolncello *

熊田茂範 佐藤良子 ○深見彰子

* Guitar *

平 文雄 長川千穂 ○春山秀城

* Contrabass *

○上野 博

メンバー募集(経験者)のお知らせ

郡山マンドリンクラブでは、
メンバーを随時募集しております。
右記までお気軽にお問い合わせください。

練習時間／毎週土曜日 午後4時～7時
練習場所／中央公民館
お問い合わせ／koriyama.mandolin@gmail.com
KMCホームページ／<http://www.idic.jp/kmc>